

フィンランド語準中級講座⑫

「動詞の過去形」

関連する他の動画

「フィンランド語文法：中級①」

「フィンランド語文法：中級②」

資料掲載サイト

「フィンランド語との対話」 [<https://yoshidakingo.com/>]

フィンランド語準中級⑫：「動詞の過去形」テキスト

Suomi **oli** alussa jään peitossa. Noin 10 000 eaa. jää **alkoi** sulaa. Tämän jälkeen ensimmäiset ihmiset **tulivat** Suomeen noin 8 000 - 6 500 eaa. idästä ja etelästä. Suomessa on paljon järviä ja jokia. Ihmiset **asuivat** järvien ja jokien lähellä. Kalastus **oli** tärkeä elinkeino. Ensimmäiset ihmiset **kalastivat** verkoilla ja koukuilla, jotka he **tekivät** eläimen luusta. (Vilma)

フィンランドは | であった | 最初は | 氷の | 覆いの中で。約 10 万 | 紀元
前 | 氷は | 始めた | 解ける。この | 後で | 最初の | 人々が | 来た | フィ
ンランドへ | 約 8 千から 6 千 5 百年 | 紀元前 | 東から | そして | 南か
ら。フィンランドには | ある | たくさん | 湖が | そして | 川が。人々は
| 住んだ | 湖の | そして | 川の | 近くに。漁労は | であった | 重要な |
生業。最初の | 人々は | 漁をした | 網で | そして | 釣り針で |、それら
を | 彼らは | 作った | 動物の | 骨から。

Suomi **oli** pieni maa kahden ison maan välissä. Ruotsalaiset ja venäläiset **halusivat** tuoda kristinuskon Suomeen. [...] (Vilma)

フィンランドは | であった | 小さな | 国 | 二つの | 大きな | 国の | 間に。スウェーデン人たちは | そして | ロシア人たちは | 望んだ | もってくる | キリスト教を | フィンランドへ。

Ruotsalaiset **hyökkäsivät** Suomeen. Ruotsi **sai** Suomesta suuren osan. Tällä tavalla Suomesta **tuli** osa Ruotsia. Ruotsalaiset **toivat** kristinuskon Suomeen, siksi sotien nimi on ristiretki. (Vilma)

スウェーデン人たちは | 攻撃した | フィンランドへ。スウェーデンは | 得た | フィンランドから | 大きな | 部分を。この | 方法により | フィンランドからは | 来た | [部分が | スウェーデンの]。スウェーデン人たちは | もってきた | キリスト教を | フィンランドへ |、そのため | 戦争の | 名前は | であった | 十字軍。

Suomessa **oli** paljon turkiseläimiä. Turkiksilla ihmiset **kävivät** kauppaa. [...] Ruotsin kuningas **oli** Suomen hallitsija. Ruotsi **soti** jatkuvasti Venäjän kanssa. Sen takia ruotsalaiset **rakensivat** Suomeen kivilinnoja. (Vilma)

フィンランドには | いた | たくさん | 毛皮獣たちが。毛皮により | 人々は | 行った | 商売を。[...] スウェーデンの | 王が | であった | フィンランドの | 支配者。スウェーデンは | 戦争をした | 継続的に | ロシアの | 一緒に。その | ために | スウェーデン人たちは | 建てた | フィンランドへ | 石の城を。

Hän **järjesti** suuren kokouksen vuonna 1975. Sen nimi **oli** ETYK. Kokoukseen **tulivat** kaikki Euroopan maat, Yhdysvallat ja Kanada. Kokouksen jälkeen eri maiden suhteet **paranivat**. (Vilma)

彼（Urho Kekkonen）は | 開催した | 大きな | 会議を | 1975 年に。その | 名前は | であった | Etyk（= Euroopan turvallisuus- ja yhteistyökonferenssi「全欧安全保障協力会議」）。会議へ | 来た | すべての | ヨーロッパの | 国々が | 合衆国が | そして | カナダが。会議の | 後で | さまざまな | 国々の | 関係は | 改善された。

Suomalaiset valitsivat vuonna 2000 presidentiksi Tarja Halosen. Tarja Halonen on Suomen 11. presidentti. Hän on Suomen ensimmäinen naispresidentti. (Vilma)

フィンランド人たちは | 選んだ | 2000 年に | 大統領として | Tarja Halonen を。Tarja Halonen は | である | フィンランドの | 11 番目の | 大統領。彼女は | である | フィンランドの | 最初の | 女性大統領。

フィンランド語準中級⑫：「動詞の過去形」解説

I. 複数語幹と過去語幹における音の変化

語幹最後の母音数	語幹の母音	複数の印-i-の前で起こる変化	過去の印-i-の前で起こる変化	
一つ	o, ö, u, y	変化なし		
		talo > talo-i	puhua > puhu-i-	
	a	①	> o	
		kissa > kisso-i-	antaa > anto-i-	
		②	消える	
		koira > koir-i-	ottaa > ott-i-	
	ä	消える		
		päivä > päiv-i-	pitää > pit-i-	
	e	消える		
		joki(: joke-) > jok-i-	lukea > luk-i-	
i	> e		消える	
	lasi > lase-i-	oppia > opp-i-		

①語幹の最後の音節が母音一つで終わる場合

*これらが該当するのはタイプ 1、3、5、6 の動詞と *tehdä/nähdä*

●唇を丸める音 (o, ö, u, y) は変化しない。

●a は 2 種類の変化をする。

(1) 2 音節の語では、その語の最初の母音が a, e, i のいずれかである場合には、a は o に変化する。

(2) それ以外の場合には、原則として a は消える。

●ä は消える。

●e は消える。

●i は動詞の複数の印 -i- の前では e に変化するが、過去の印 -i- の前では消える。

語幹最後の 母音数	語幹の母音	複数の印-i-の前で 起こる変化	過去の印-i-の前で 起こる変化
二つ	長母音	短母音に	
		maa > ma-i-	saada > sa-i-
	母音+i	iが消える	
		täi > tä-i-	voida > vo-i-
	uo, yö, ie	最初の音が消える	
		työ > tö-i-	syödä > sö-i-

②語幹の最後の音節が長母音や二重母音で終わる場合

*これらが該当するのはタイプ₂の動詞

●長母音は短母音に変わる

●「母音+i」ではiが消える。

●uo, yö, ieでは最初の音であるu, y, iが消える

●käydäの過去語幹は käv-i-

Ⅲ. タイプ 4 の動詞の過去語幹

タイプ 4 の動詞では -ta/-tä を -si- に変えると過去語幹となる。

haluta > 過去語幹 halusi- (現在語幹 : halua-)

tavata > 過去語幹 tapasi- (現在語幹 : tapaa-)

Ⅳ. タイプ 1 の動詞の語幹に関する補足

タイプ 1 の動詞の多くでは、過去語幹で -ti- が -si- に変化する。

tietää > 過去語幹 tiesi- (tieti- ではない)

(⇔ pitää > 過去語幹 piti-)

rakentaa > 過去語幹 rakensi- (rakenti- ではない)

V. 過去形における kpt 交替と人称語尾

●kpt 交替の現れ方は現在形と同じ。

●人称語尾も現在形と同じ。ただし、**3 人称単数では語尾はない。**

antaa 「与える」

	現在形	過去形
語幹	anta- : anna-	anto-i- : anno-i-
minä	anna-n	anno-i-n
sinä	anna-t	anno-i-t
hän	anta-a	anto-i
me	anna-mme	anno-i-mme
te	anna-tte	anno-i-tte
he	anta-vat	anto-i-vat

VI. 過去形における逆 kpt 交替と人称語尾

●逆 kpt 交替の現れ方も現在形と同じ。

●人称語尾も現在形と同じ。ただし、3人称単数では語尾はない。

ajatella 「考える」

	現在形	過去形
語幹	ajattele-	ajattel-i-
minä	ajattele-n	ajattel-i-n
sinä	ajattele-t	ajattel-i-t
hän	ajattele-e	ajattel-i
me	ajattele-mme	ajattel-i-mme
te	ajattele-tte	ajattel-i-tte
he	ajattele-vat	ajattel-i-vat